

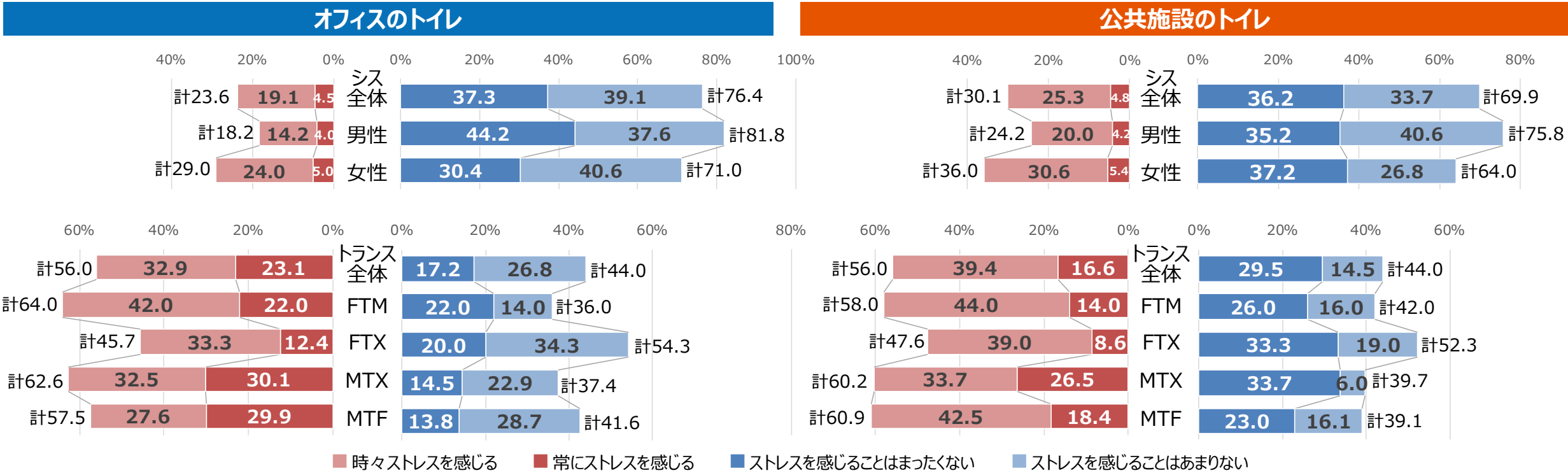
3. 調査結果報告

3-5. トイレ利用のストレス・不満点、小便器間の仕切り（オフィス・公共施設）

トイレ利用時のストレス有無：オフィス・公共施設（シス／トランス）

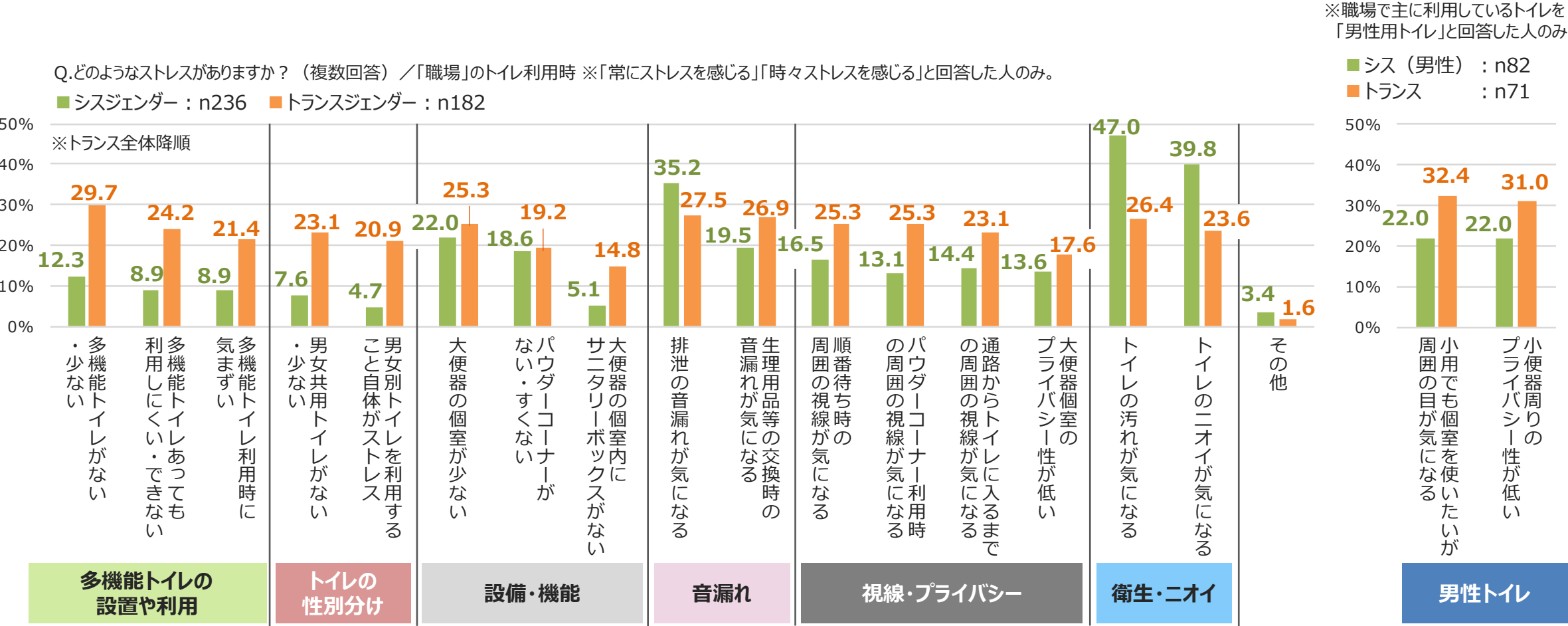
- オフィス、公共施設共に、シスよりもトランスの方がトイレにストレスを感じている割合が高い。
- シスでは、オフィスよりも公共施設の方がストレスを感じている割合がやや高く、6.5ポイントの差がある。男性よりも女性の方がストレスを感じている。
- トランス全体では、施設間での合計割合は同じだが、「ストレスを感じることはまったくない」と回答した人は公共施設29.5%に対し、オフィス17.2%で12.9ポイントの差がある。

Q.職場、および駅・ショッピングセンターなどの公共施設でトイレを利用する際、ストレスを感じることはありますか？（SA）



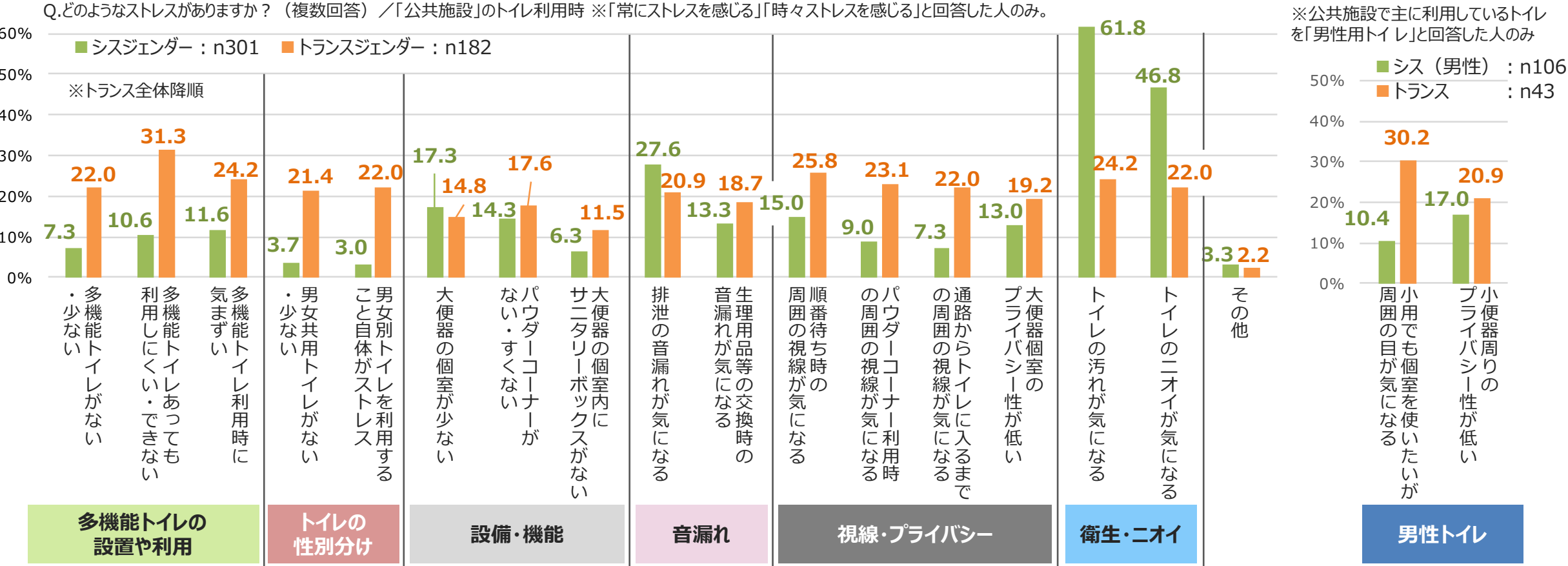
トイレのストレス・不満点：オフィス（シス全体・トランス全体）

- シスでは、衛生・ニオイに関する項目の割合が最も高く、「汚れ」が約5割で突出している。
- トランスの場合は、多機能トイレやトイレの性別分けに関することがシスよりも15ポイント前後高く、視線に関する項目は10ポイント前後高い。トランスは、衛生・ニオイ以前にトイレへのアクセス自体にストレスを感じている。
- 男性トイレに関する2項目は、トランスは3割以上だが、シスも2割以上がストレスに感じている。



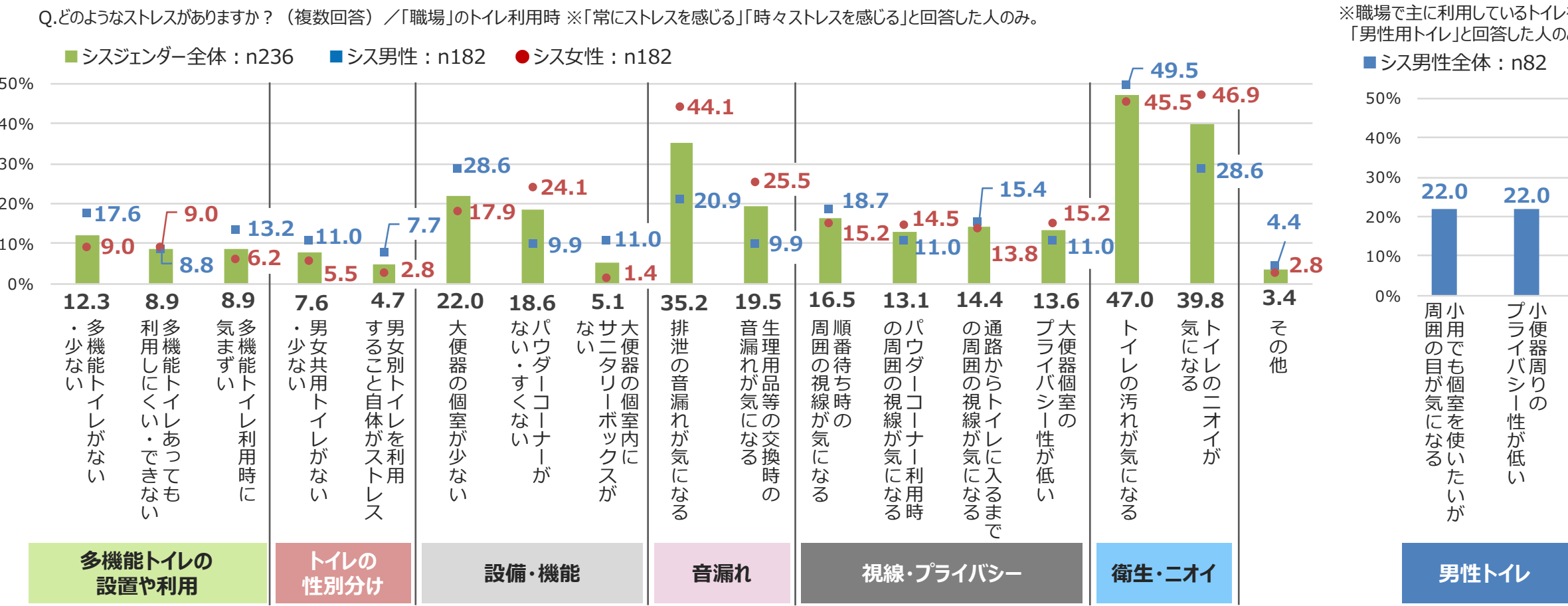
トイレのストレス・不満点：公共施設（シス全体・トランス全体）

- シスでは、オフィス同様、衛生・ニオイに関する項目の割合が最も高い。「汚れ」は約6割、「ニオイ」は約5割でオフィス以上に突出している。
- 多機能トイレやトイレの性別分けに関する項目は、公共施設以上にシスとトランスの差が開いた。両者共に、多機能トイレの「数」についてはオフィスよりも割合が低くなるが、「あっても利用しにくい・できない」については高くなり、トランスでは3割を超える。
- パウダーコーナーやトイレに入るまでの視線に関する項目は、トランスはオフィスとほぼ同程度だが、シスの割合がオフィスよりも低い。
- 男性トイレに関しては、シス・トランス共にオフィスよりも割合が低く、オフィスほど人目を気にしていないことがうかがえる。



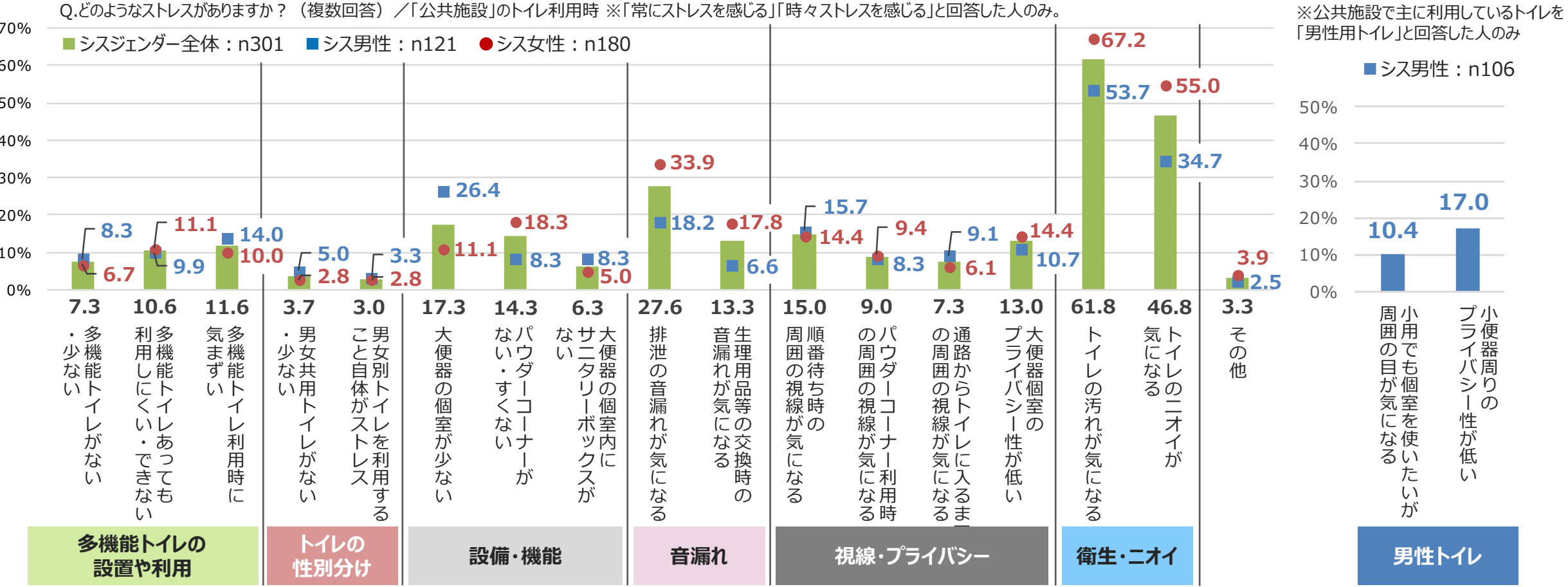
トイレのストレス・不満点：オフィス（シス全体・シス男女）

- 男性は大便器の個室の数や多機能トイレの数など、器具数の少なさに関することは女性よりもストレスに感じている人が多い傾向。
- 女性は、排泄の音漏れや生理用品の交換音などの「音」に関することや、「ニオイ」に関すること、「パウダーコーナーの少なさ」が、男性よりもストレスを感じている割合が特に高い。



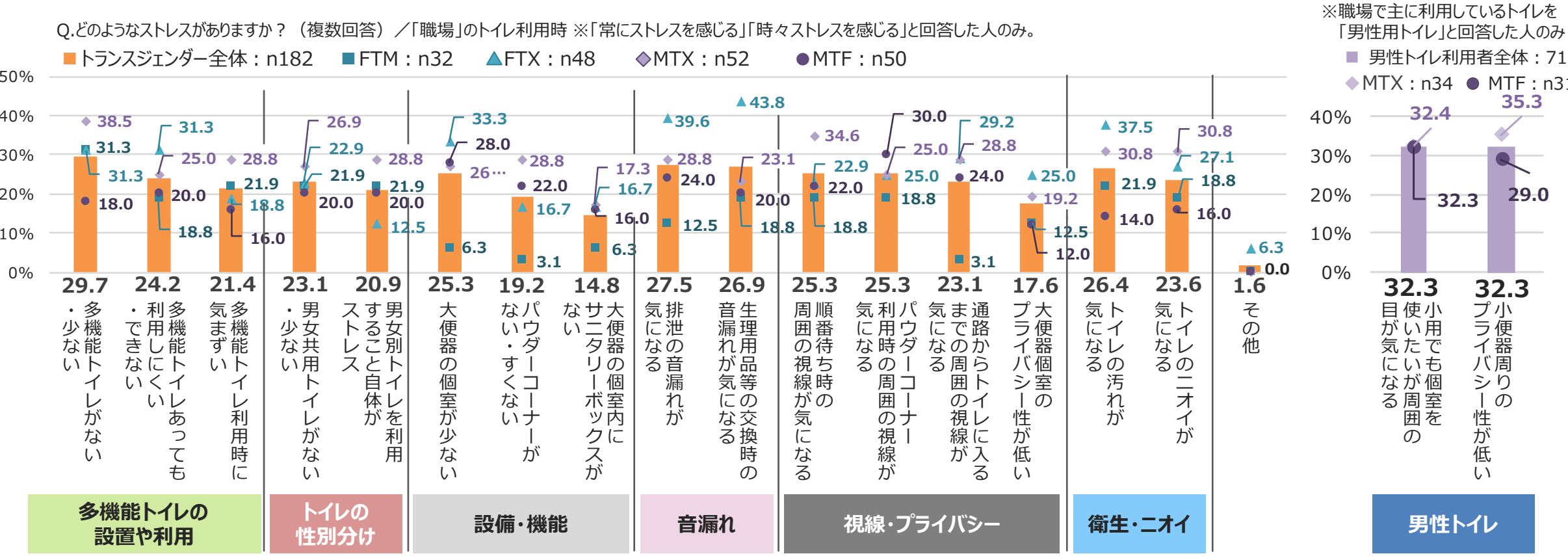
トイレのストレス・不満点：公共施設（シス全体・シス男女）

- オフィス同様、女性の方が男性よりも、排泄の音漏れ、生理用品等の交換音、パウダーコーナーの少なさ、ニオイに関する項目が高い。
- 女性は、排泄の音漏れについてオフィスより10.2ポイント低く、オフィスほど気にしていない傾向がみられた。公共施設は知らない人同士での利用であることが影響していると考えられる。
- 汚れやニオイについては、男女共にオフィス以上に不満に感じているが、その傾向は女性の方が特に強い。



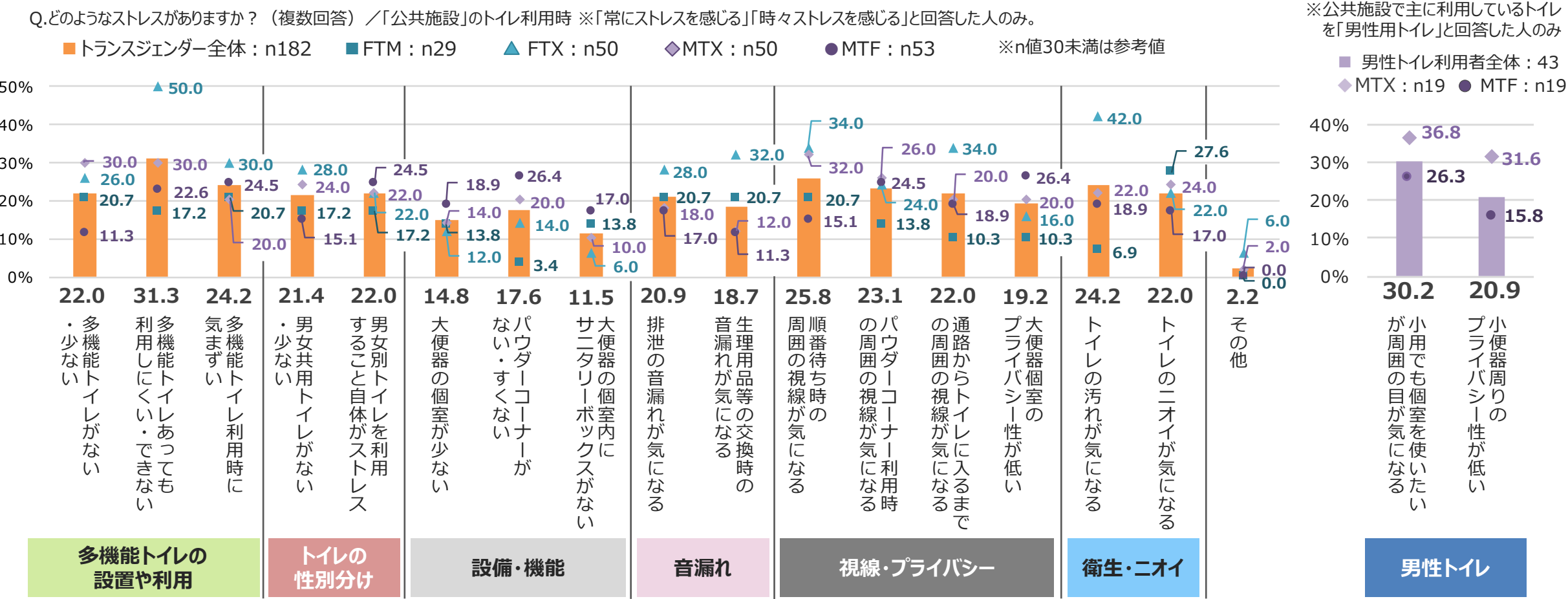
トイレのストレス・不満点：オフィス（トランス全体・トランス4区分）

- FTM・MTFよりも、FTX・MTXの方が全体的にストレスを感じている割合が高いが、ジェンダー毎にバラつきや割合差があり、ストレスのポイントが異なる。特に、多機能トイレの設置数、排泄音、汚れについてはジェンダー間の差が大きい。
- FTMは突出項目がなく、特に「設備機能に関する項目」は他のジェンダーより低い。MTFは、「パウダーコーナー利用時の視線」が他のジェンダーより高い。
- FTXでは「多機能トイレの利用しにくさ」、「大便器の個室数」、「音漏れ」、「大便器個室のプライバシー性」、「汚れ」、MTXでは「多機能トイレの数」と「利用時の気まずさ」、「男女別トイレの利用」、「順番待ちの視線」が他のジェンダーに比べて割合の高さが目立つ。



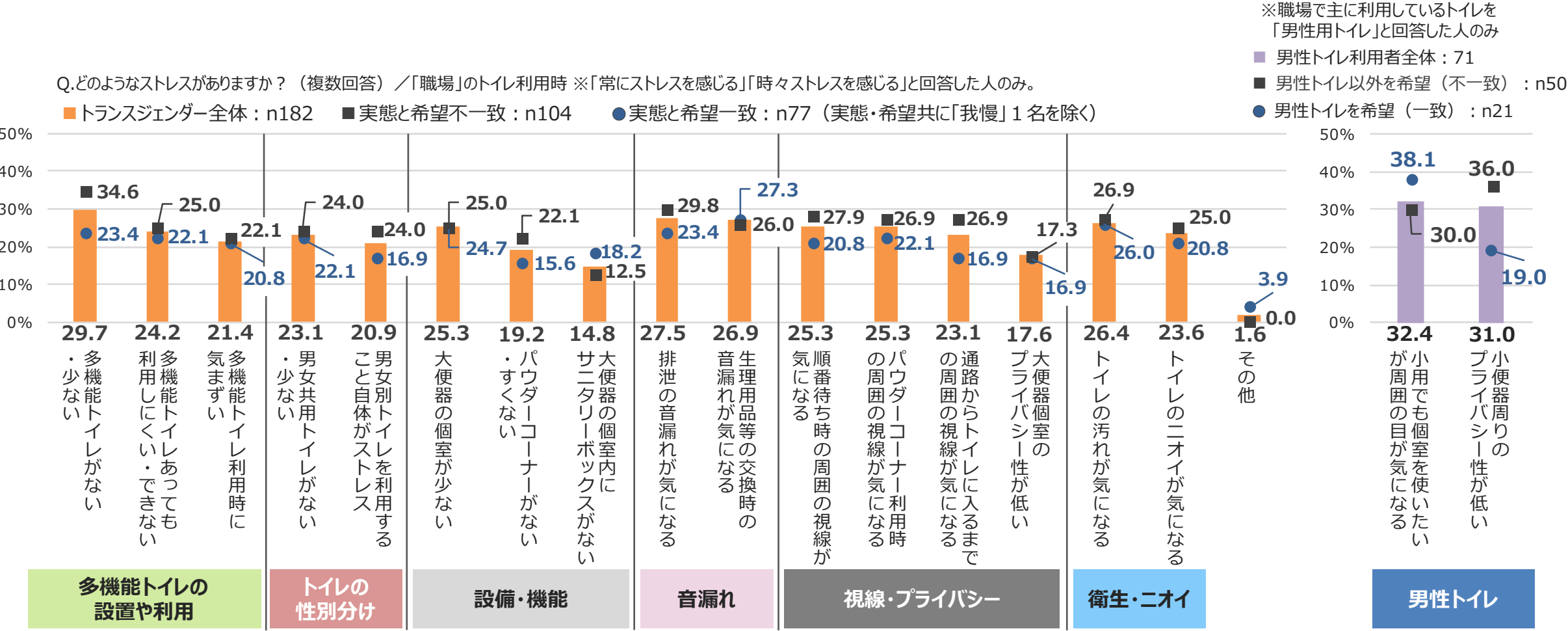
トイレのストレス・不満点：公共施設（トランス全体・トランス4区分）

- オフィス同様、ジェンダー毎にバラつきがあり、割合に差があるものも多く、ストレスを感じるポイントが異なっている。
- FTXでは多機能トイレがあっても利用しにくい・できない、音漏れ、トイレまでの視線、汚れに関する項目が他のジェンダーに比べて割合の高さが目立つ。



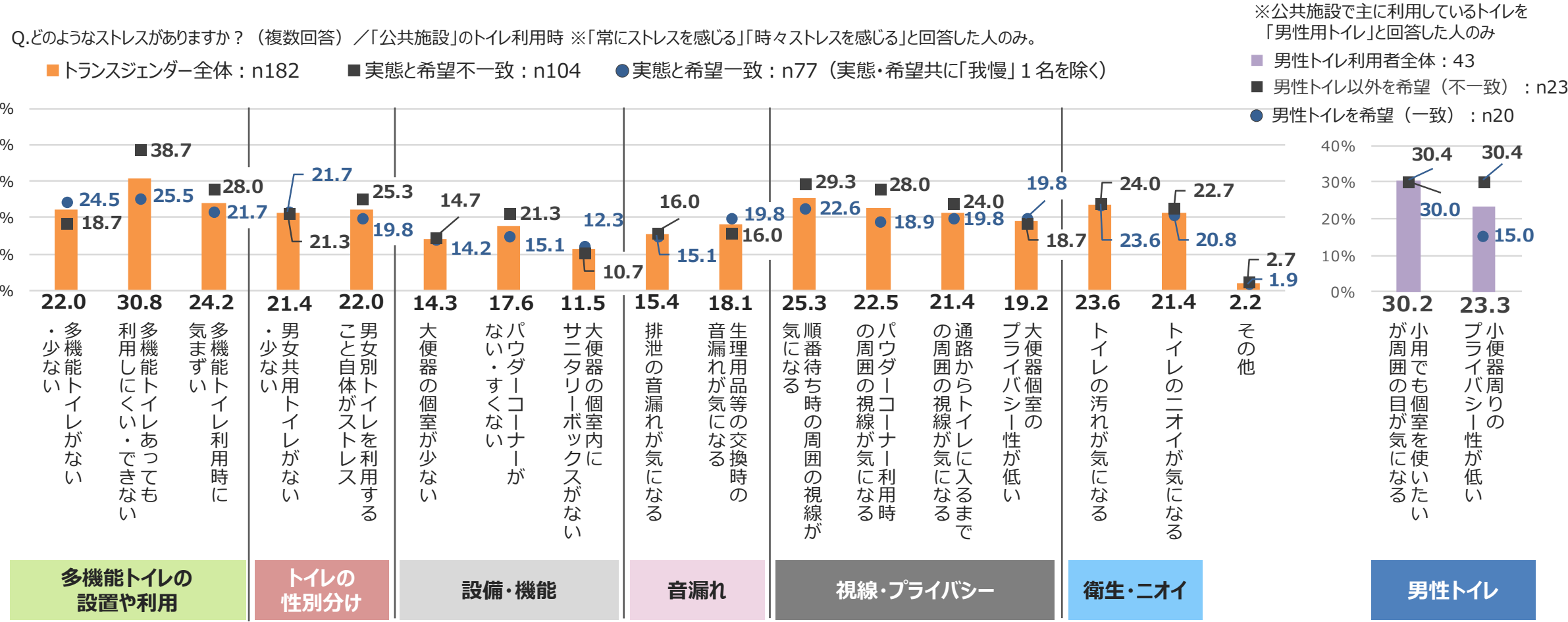
トイレのストレス・不満点：オフィス（トランス・トイレ利用：一致／不一致）

- 多機能トイレの少なさ、男女別トイレを利用すること、パウダーコーナーの少なさ、排泄音、視線に関する項目は、利用の実態と希望が一致している人よりも、一致していない人の方がストレスに感じている割合が高い。
- 男性トイレについては、小便器周りのプライバシー性について、一致が19.0%に対し不一致は30.0%で11ポイントの差であった。



トイレのストレス・不満点：公共施設（トランス・トイレ利用：一致／不一致）

- 多機能トイレが設置されていることが少ないオフィスに比べ、公共施設の方が「多機能トイレがない・少ない」の割合は減る。
- 一方、「多機能トイレがあっても利用しにくい・できない」の割合は増えている。
- 男性用トイレを主に利用している人では、「小用でも個室を使いたいが周囲の目が気になる」が約3割であった。



トイレのストレス・不満点：オフィス（トランス・利用トイレ別）

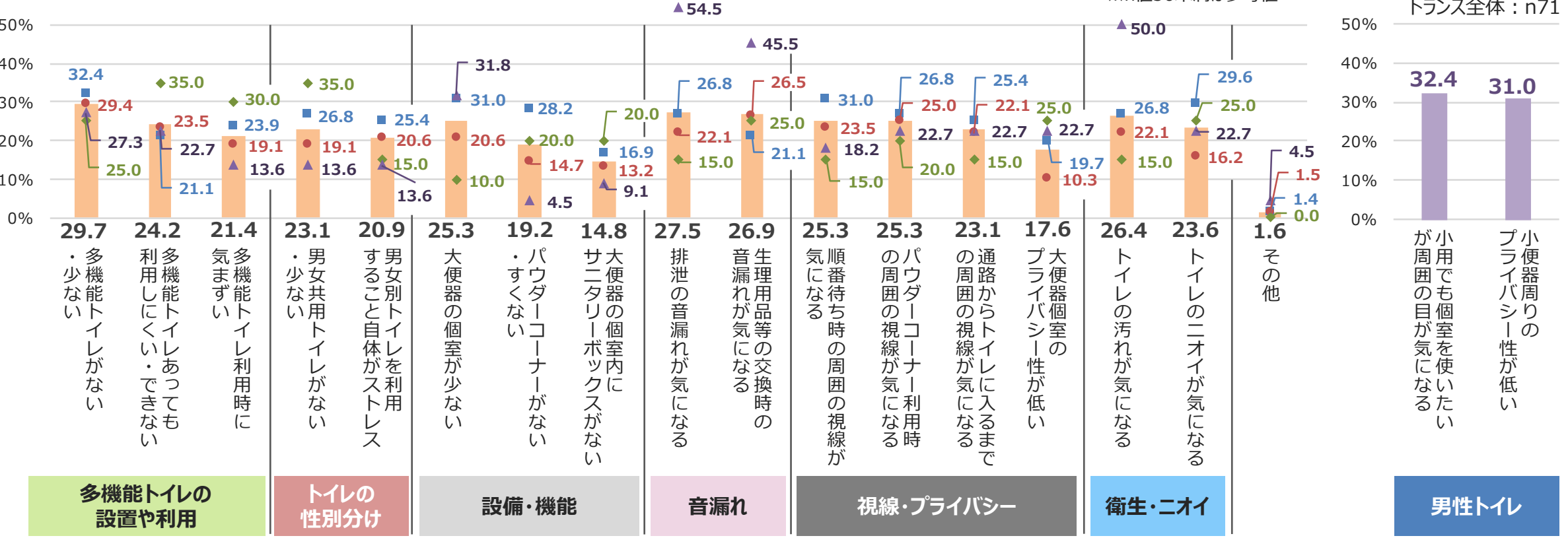
- 男性トイレを利用している人の方が、女性トイレを利用している人よりもストレスを感じている割合が高い傾向にある。
- サンプル数が少ないため参考値ではあるが、多機能トイレを利用している人では、「多機能トイレがあっても利用しにくい・できない」、「利用時に気まずい」、「男女共用トイレが少ない」ことをストレスに感じている割合が高く、ストレスを感じながら利用していることがうかがえる。男女共用トイレを利用している人では、「音漏れ」や「汚れ」を気にしている人の割合が突出している。

Q.どのようなストレスがありますか？（複数回答）／「職場」のトイレ利用時 ※「常にストレスを感じる」「時々ストレスを感じる」と回答した人のみ。

※職場で主に利用しているトイレを「男性用トイレ」と回答した人のみ

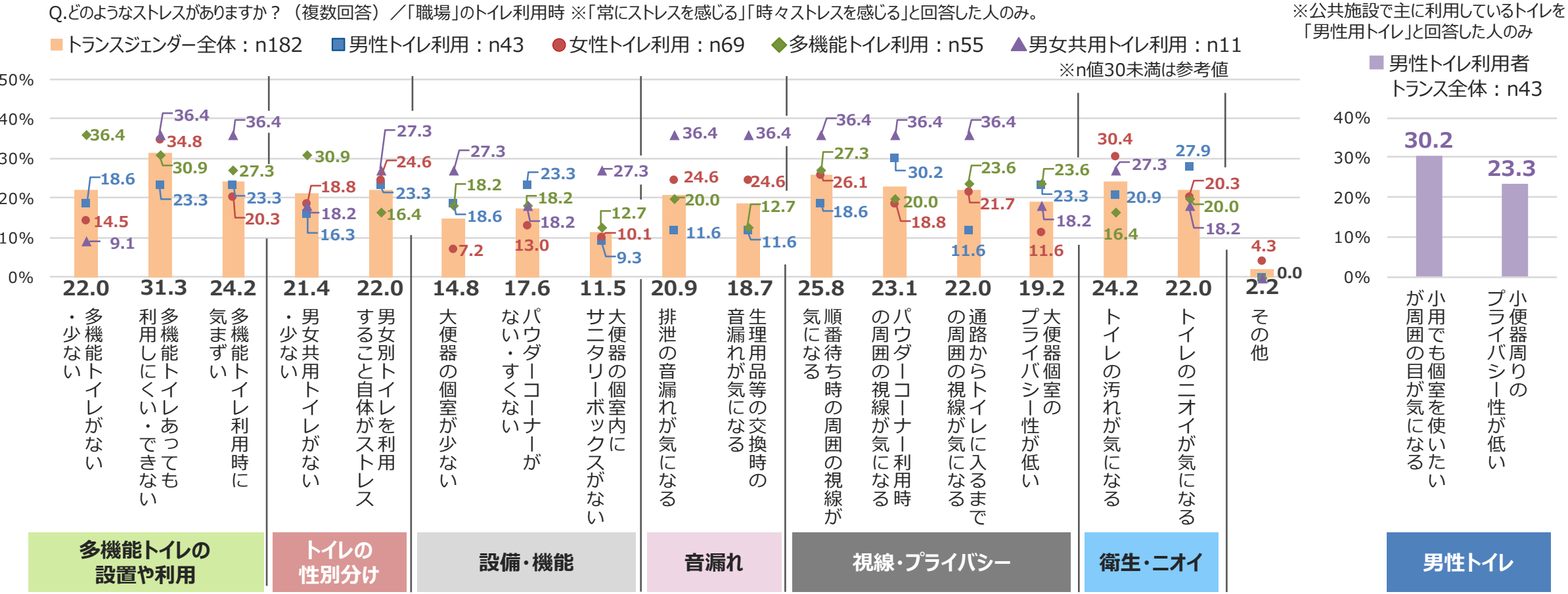
■ トランスジェンダー全体：n182 ■ 男性トイレ利用：n71 ■ 女性トイレ利用：n68 ◆ 多機能トイレ利用：n20 ▲ 男女共用トイレ利用：n22

※n値30未満は参考値



トイレのストレス・不満点：公共施設（トランス・利用トイレ別）

- オフィスに比べて多機能トイレの整備が進んでいる公共施設においても、多機能トイレを利用している人は、数の不足を感じている。また、男女共用トイレにおいても数の不足を感じており、そのために多機能トイレを利用している可能性もある。
- サンプル数が少ないため参考値ではあるが、「男女共用トイレ」を利用している人は、「多機能トイレがあっても利用しにくい・気まずい」と感じている割合が、他のトイレを利用している人に比べて高い。



小便器間の仕切りのニーズ：オフィス・公共施設（シス／トランス）

- オフィス、公共施設ともに仕切りが「あった方がよい」と回答した人は、シスでは約7割、トランスでは8割以上にのぼる。特に、「ぜひあった方がよい」ではシスが35%程度であるのに対し、トランスでは6割前後でありトランスの方が仕切りを希望している割合が高い。
- オフィス・公共施設共に、MTXの方がMTFよりも仕切りを望む回答がやや多い。
- MTFでは、オフィスの方が公共施設よりも「ぜひあった方がよい」が10ポイント以上高い。

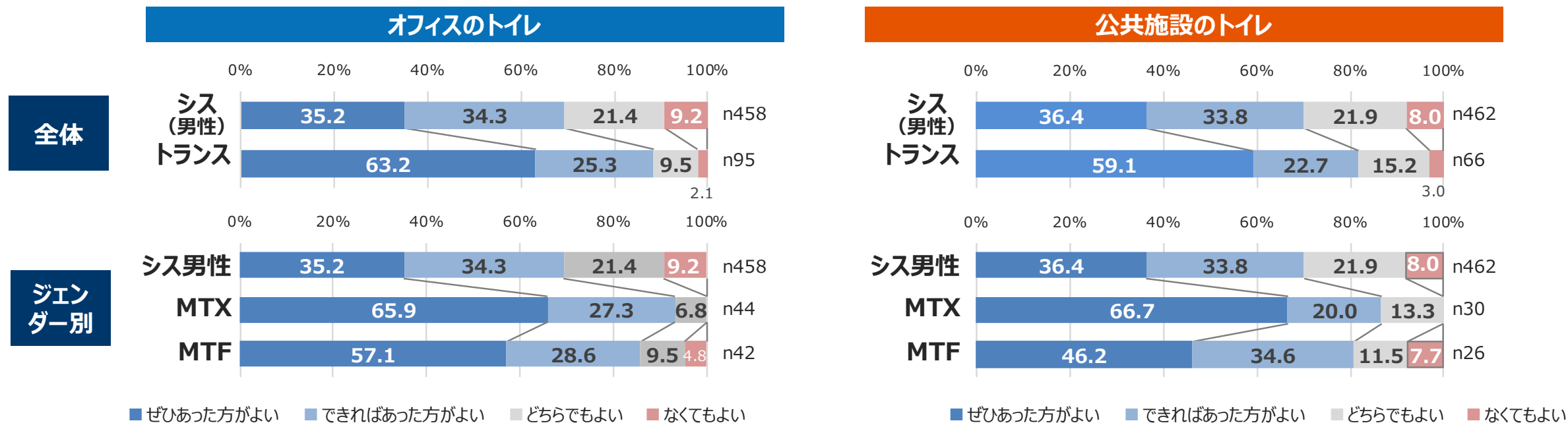
Q. あなたは、男性用トイレで小便器を利用する際、小便器との間に仕切りはある方がよいですか。

※主に利用しているトイレを「男性トイレ」と回答した人のみ。かつ、「小便器は利用しない」と回答した人※を除く。

※「小便器は利用しない」と回答した人

・オフィス：シス男性2名、MTX2名、MTF3名、

・公共施設：シス男性2名、FTM・MTX各1名、MTF2名。



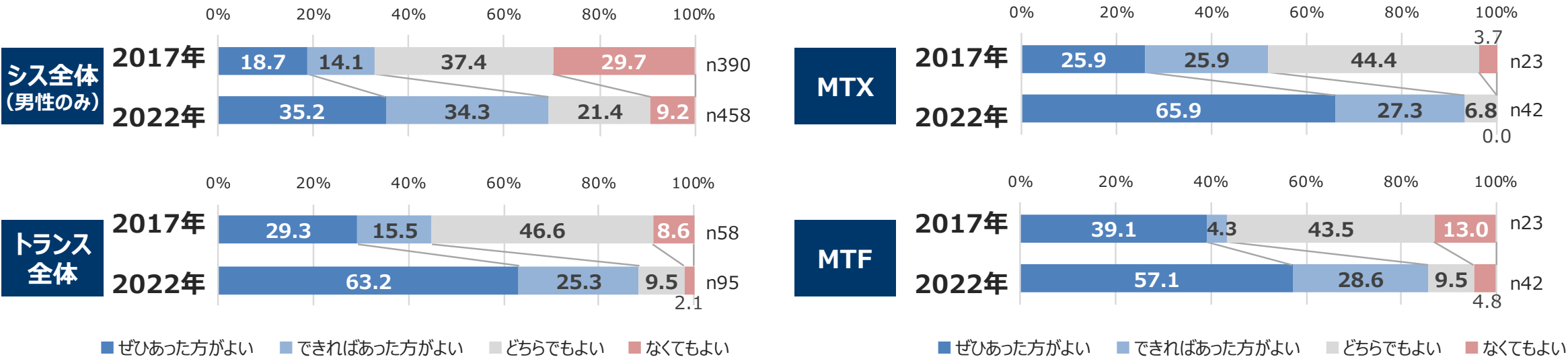
※FTM、FTXはトランス全体には含まれるが、サンプル数が非常に少ないためジェンダー別での集計は実施せず。

小便器間の仕切りのニーズ：オフィス / 2022年・2017年の比較（2017年は公共施設では実施せず）

- 2017年のオフィスの調査結果と比較すると、シス・トランス共に仕切りが「あった方がよい」と回答した人が増加。
- 「ぜひあった方がよい」と回答した人は、シス全体では2017年の18.7%に対し2022年は35.2%であり、16.5ポイント増、トランス全体では2017年の29.3%に対し、2022年では63.2%であり、倍増している。
- 「あった方がよい」の割合が顕著に増加していることには、調査を実施した2022年11月は「コロナ禍」であったことが影響していると考えられる。

Q. あなたは、男性用トイレで小便器を利用する際、小便器との間に仕切りはある方がよいですか。

※職場で主に利用しているトイレを「男性トイレ」と回答した人のみ。かつ「小便器は利用しない」と回答した人を除く。
※2017年のトランスジェンダー回答者はオープン調査で回収したサンプルを含むため、オープン調査回答者を除く調査会社モニター登録回答者のみで集計し、比較条件を揃えた。



※FTM、FTXはトランス全体には含まれるが、サンプル数が非常に少ないためジェンダー別での集計は実施せず。2017年のMTX・MTFは、n値30未満につき参考値。